

三重とこわか国体・三重とこわか大会

「名張市炬火採火・集火式」 が行われました！

三重とこわか国体の開催まで2カ月となりました。

7月23日に弓道競技の会場である名張市の「マツヤマSSKアリーナ」前広場において、

「三重とこわか国体・三重とこわか大会 名張市炬火採火・集火式」が行われました。

「炬火採火・集火式って何!？」と思われた方が多いと思いますので簡単に説明しますと、

「炬火（きょか）」とはオリンピックでいうと聖火にあたります。

その「炬火」が三重県の各市町村から採火され、国体総合開会式の会場で炬火台に点火されます。

名張市では地元開催競技である「弓道」、「軟式野球」、「ホッケー」の各競技団体が「舞錐（まいぎり）」

と呼ばれる火おこしを式典会場で個別に行い、その火を「炬火トーチ」に採火後「集火台」に一斉に集火されました。

集火された火は「名張の火」として、名張市役所で保管された後に総合開会式会場に移されます。

式典はコロナの影響で最小限の出席者で行われましたが、国体成功に向けて気持ちを一つにする事が出来ました。



名張市長をはじめとする出席者が見守る中で、
集火台に点火を行う「ホッケー」、「軟式野球」、「弓道」の各代表者。



「舞錐（まいぎり）」にて火起こしを行う名張弓道協会の出席者。



他団体よりも弓道が早く出来たためマスコミ対応中。